

博報堂教育財団 第14回「日本研究フェローシップ」成果報告書

I. 研究成果概要

氏名(フリガナ) 在住国名	WILLIAMS Nicholas Morrow(ウィリアムズ ニコラス モロー) 香港
所属・役職	香港大学・准教授
招聘回(招聘研究期間)	第14回(2019年9月1日～2020年8月31日)
受入機関	京都大学
招聘研究テーマ	空海の『三教指帰』の中の漢文美学と悟りへの道
研究目的	日本文化史の重要な転換点を新しい角度から調べる
研究成果概要	
1. どのように研究を進めたか(具体的に)	
<p>受け入れ機関が京都大学であったので、活動の大部分は京都大学で行っていました。もっとも肝心な仕事は『三教指帰』の英語訳と注釈を書くことでありました。この仕事は、京都大学の図書館の資料を利用し完了しました。資料の一部は国外で見つけにくいですが、京都大学の文学研究科図書館で全部揃っているため翻訳が順調に進みました。この翻訳を近い将来に研究書として出版するつもりです。</p> <p>同時に京都大学の教授と研究生と交流し、研究テーマと関わる知識とアプローチを習っていました。2019年の秋学期も、2020年春学期も京大の授業を聴講していました。漢籍の分類法、『三体詩』という詩集の注釈と研究、記紀歌謡の研究法などについての授業を聴講し、このような科目についての最新研究方法を習い、自分の『三教指帰』に関する研究をより広いコンテキストの中において進めました。</p> <p>最後に、空海の伝記と文化影響について様々な方法で習いました。京都市の東寺、神護寺、泉涌寺などお寺を訪問し、真言宗の根本道場である高野山にも資料を集めました。『三教指帰』を空海の一生涯の活動の中の位置をより深く分かるようになりました。</p> <p>私の学術の専門は古典文学なので、主に文学の角度から『三教指帰』の研究を行っていました。しかし、いうまでもなくその仏教史の意味も非常に大きいので、今年に仏教学専門の学者と交流するつもりでしたが、研究のこの部分はコロナ禍の影響で計画通りに順調に進みませんでした。この点について少し遺憾を感じております。</p>	
2. 研究によりどのような知見が得られたか(具体的に)	
<p>『三教指帰』の翻訳と注釈を書きながら、日本がどのように中国文学を受け入れたかについてたくさんの新しいことを発見しましたが、もっとも新しい知見は空海の見れば三教(儒、道、仏)の間の相互関係であります。三教の関係は衝突ではなく、むしろ階段のような関係です。というのは、空海にとって儒教も道教も悟りへの道の途中の段階だと言えます。これは空海思想の包括的な一面だと思います。</p> <p>これ以外、去年の九月に研究を始めたときに、テーマの中の「文学」と「宗教」二つの領域の間に距離が非常に遠いと思いました。空海は漢詩と漢文学を重要視したことは否定できませんが、このことは空海の教育や性格のせいで、仏教思想と直接かかわらないためであったかもしれません。この一年間の研究の結果で、空海の文学観は密教の言語観と不可欠な関係があると思います。というのは、空海が漢文文学を重要視したことは密教思想のなかの悉曇や陀羅尼など梵文の中心的な役割の影響があると思います。この点は、『三教指帰』の研究にすこし触れますが、将来の研究により完全に処理するつもりです。</p>	
3. 研究成果(予定を含む)	
○論文(題目, 掲載誌, 発行者, 掲載月, 内容の概略(200字以内))	
<ul style="list-style-type: none"> ● <i>The Nonduality of Writing: The Implicit Argument of Kūkai's Sangō shiki</i>. 研究書の原稿。まだ未完成ですが、将来にアメリカの出版社に投稿するつもりです。 	
○口頭発表(題目, イベントの名称, 日・場所, 内容の概略(200字以内))	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「『文選』、空海の『三教指帰』と文化融合のパラドックス」。早稲田大学。2019年12月10日。学術講義。 ● 「空海の『三教指帰』について——辞賦の文体と密教思想の萌芽」。京都大学中国文学会。2020年7月18日。学術講義。 	

4. 今後の活動予定

『三教指帰』の英語訳と注釈は一応完成していますが、これから研究書の形で出版するのは沢山の仕事が残っています。おもに、その広い歴史コンテキストを英語で説明し、英語の最新研究と結び合わせる事です。日本で重要な資料を集めたので、残っていることは帰国してから一人でできると思います。

より遠い将来に、他の研究課題も考えています。例えば、空海以後の作家と僧侶はどのように漢文学と仏教の関係を捉えていましたか？例えば五山の禅林は、中国から伝来した禅宗に属していたけれども、空海からの影響もあったように思われます。これも将来にいい研究課題になると思います。